

2022小型OLEDディスプレイ半期レポート

Chief Analyst
Dr. Choong Hoon YI

Analyst
Dae Jeong YOON
Jun Ho KIM

1. キーサマリー	5
2. 小型OLED産業課題分	7
2.1 Micro-OLED関連開発動向	
2.2 中国6GフレキシブルOLEDライン再編可能性	
2.3 サムスンディスプレイのRigid OLED出荷量の低下	
3. 小型OLED産業分析	16
3.1 OLEDウォッチトレンド分析	
3.2 ウォッチ用OLED展示動向分析	
3.3 OLEDスマートフォントレンド分析	
3.4 フォルダブルフォントrend分析	
3.5 パネルメーカー別フォルダブルOLED事業と展示動向	

4. 小型OLED量産キャパ分析と展望	64
4.1 総量産キャパ分析と投資視点分析	
4.2 量産キャパ展望	
4.3 企業別量産キャパ展望	
4.4 世代別量産キャパ展望	
4.5 基板別量産キャパ展望	
4.6 国別量産キャパ展望	
4.7 メーカー別小型OLED量産ラインの現状	
5. 半期別OLED市場実績分析	96
5.1 小型OLED全体の実績分析	
5.2 企業別小型OLED実績分析	
5.3 アプリケーション別OLED実績分析	
5.4 基板別OLED実績分析	
5.5 国別OLED実績分析	
5.6 スマートフォンとフォールドブルフォンのOLED実績分析	
5.7 企業別スマートフォン用OLED実績分析	
5.8 スマートフォン用OLEDの基板別実績分析	
5.9 ウォッチ用のOLED実績分析	

6. 四半期ごとのOLEDパフォーマンス分析	131
6.1 全体的な業績分析	
6.2 企業別の業績分析	
6.3 アプリケーション別の業績分析	
6.4 スマートフォン用とフォルダブルフォン用OLED実績分析	
6.5 ウォッチ用OLED実績分析	
7. スマートフォン用OLED需要供給分析	173
7.1 年別スマートフォン用OLED需要供給分析	
7.2 四半期ごとのスマートフォン用OLED需要供給分析	
8. OLED市場の見通し	176
8.1 市場全体の見通し	
8.2 パネルメーカー別市場展望	
8.3 アプリケーション別市場予測	
8.4 国別市場の見通し	

2. 小型OLED産業課題分析

2.1 Micro-OLED関連開発動向

■ LGディスプレイ

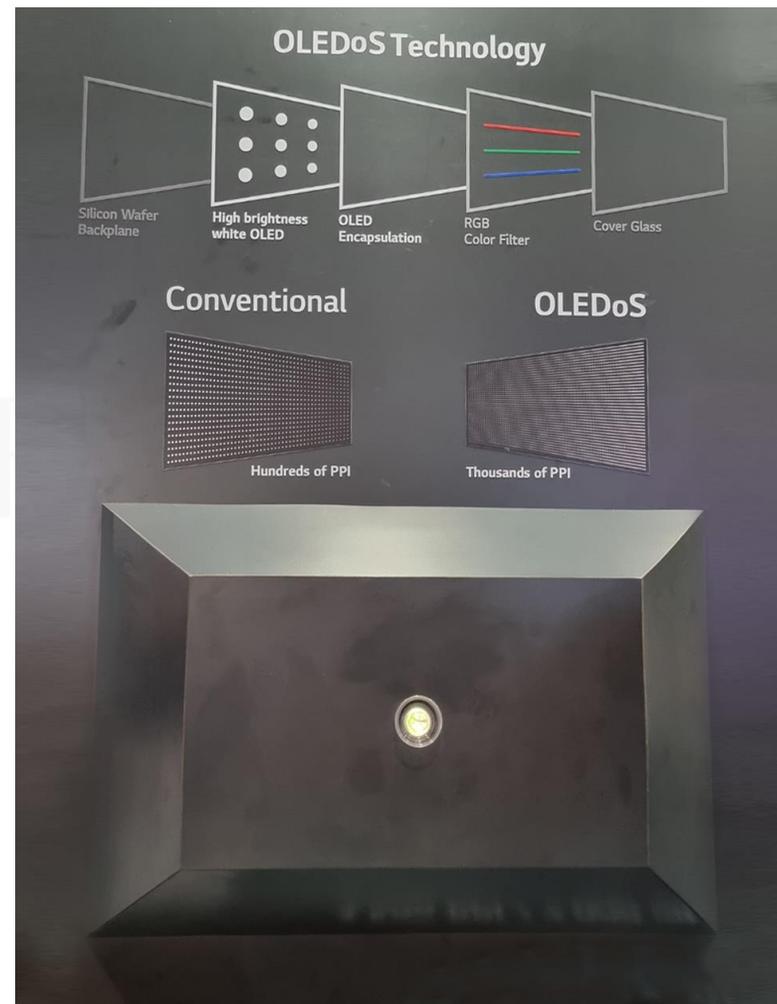
- 麻谷に位置するR&Dラインでmicro-OLEDを開発中で、SID 2022でOLEDoSという名前で製品を展示した。
- メタバス市場の成長性を肯定的に見ており、METAとAppleとの戦略的な関係を構築する計画を立てている。
- LGDは2025年に量産を目標にライン投資を検討中であり、**** **基準**K/月規模の投資を進めた後、最大**K/月規模まで増設を計画している。
- *** **は*** **から供給されると予想される。

年ごとのLGディスプレイのOLEDoS性能

Year	2020	2021	2022
Size [inch]	0.42	→	→
Resolution	1280 x 720	→	→
ppi	3,500	→	→
Brightness [nit]	4,000	5,000	7,000
Color gamut [%]	97 @DCI-P3	→	→
Feature	- Real RGB	- Real RGB	- Real RGB - Sub-pixel size: 2.42 x 7.26 μm^2 - Refresh rate: 120 Hz

Source: UBI Research

SID 2022でLGディスプレイが展示したmicro-OLED



Source: LG Display

3. 小型OLED産業分析

3.5 パネルメーカー別フォルダブルOLED事業と展示動向

■ BOE

- Honor向けとしては「Magic V」の後継モデル用に2つのパネルを開発中である。
- 最初の開発パネルは前作と同じ形で**インチ**タイプのフォルダブルOLEDであり、****が供給するUTGが適用されると予想される。
- ****では****のガラスのみを使用したか、BOEの要請で****のガラスも同様に使用している。
- 2022年下半期の量産目標であり、物量は**万台程度になると予想される。
- 2番目の開発パネルは*****タイプで、サイズは**インチ、カバーウィンドウは****で加工した**が使用されると予想される。
- 量産目標日程は2022年下半期であり、物量は**万台と予想される。

BOEが開発中のフォルダブルOLED

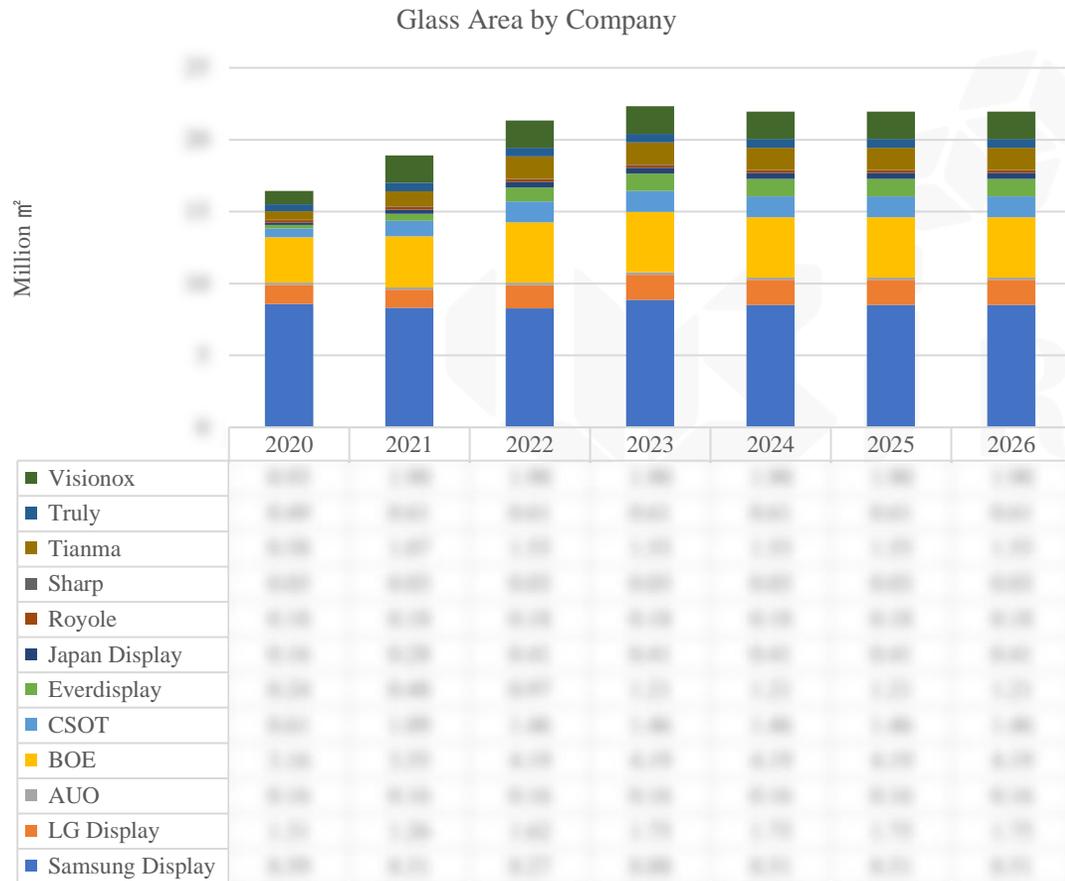
Set company	Folding type	Size [inch]	MP Target	Cover window	Note
Huawei	In-Folding	6.5	4000	-	Stage 1 series, Gen 2
Huawei	In-Folding	7.8	4000	-	For Stage 1 series
Oppo	In-Folding	-	4000	-	-
Oppo	Out-Folding	10.5	-	UTG	Research and Development project
Honor	In-Folding	7.8	4000	UTG	For Stage 1 series
Honor	In-Folding	6.5	4000	UTG	For Stage 1 series, Gen 2

Source: UBI Research DB

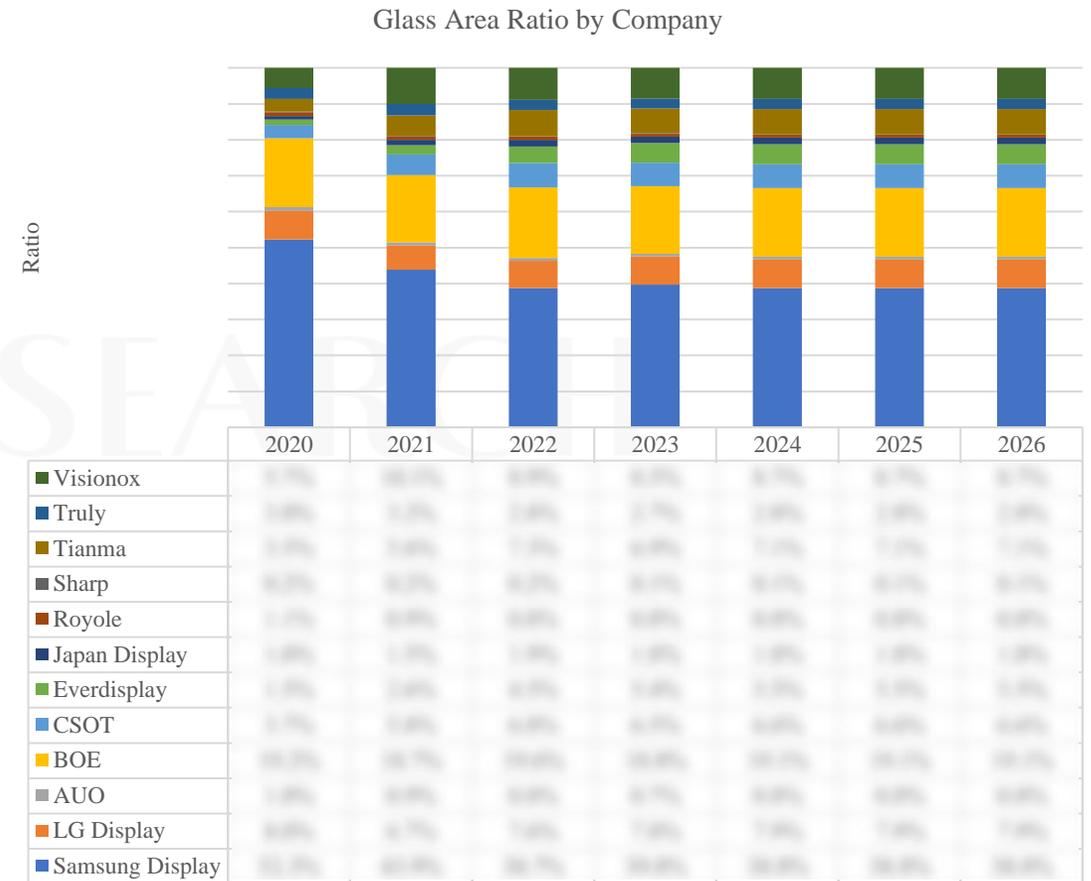
4. 小型OLED量産キャパ分析と展望

4.3 企業別量産キャパ展望

年度別量産キャパ展望



© 2022 UBI Research



© 2022 UBI Research

4. 小型OLED量産キャパ分析と展望

4.7 メーカー別小型OLED量産ラインの現状

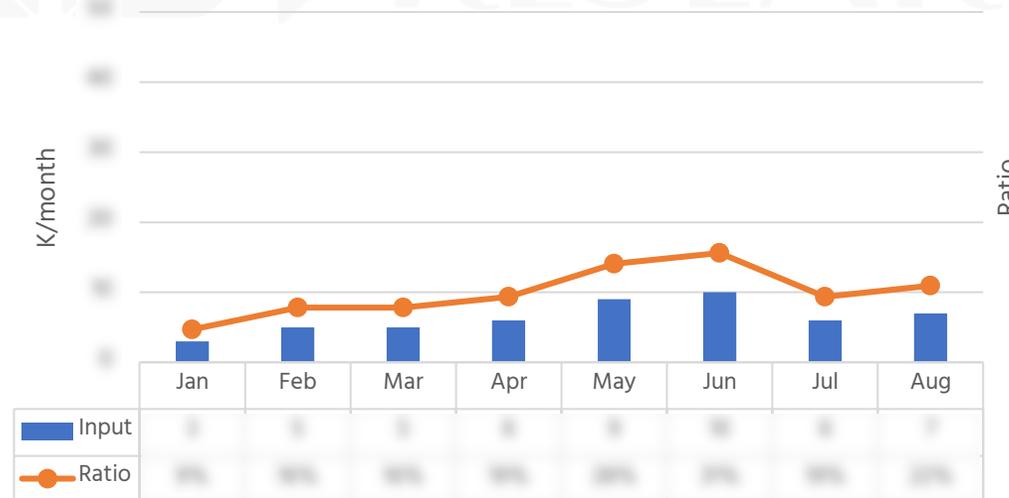
BOE

[B12 Chongqing(6G)]

- Ph-1は****向けにラインが稼働する予定だったが、他社との競争深化によりプロジェクトが中断され、これにより稼働率は低い状況だ。
- Ph-2は装備のセットアップが完了し、****から始産に入った。
- Ph-3は***用の*** *****ライン構成を計画している。
- **K/月基準で2022年8月まで、B12の月平均稼働率は***と分析された。

2022年 BOEのB12ライン稼働率

Operating ratio of BOE B12



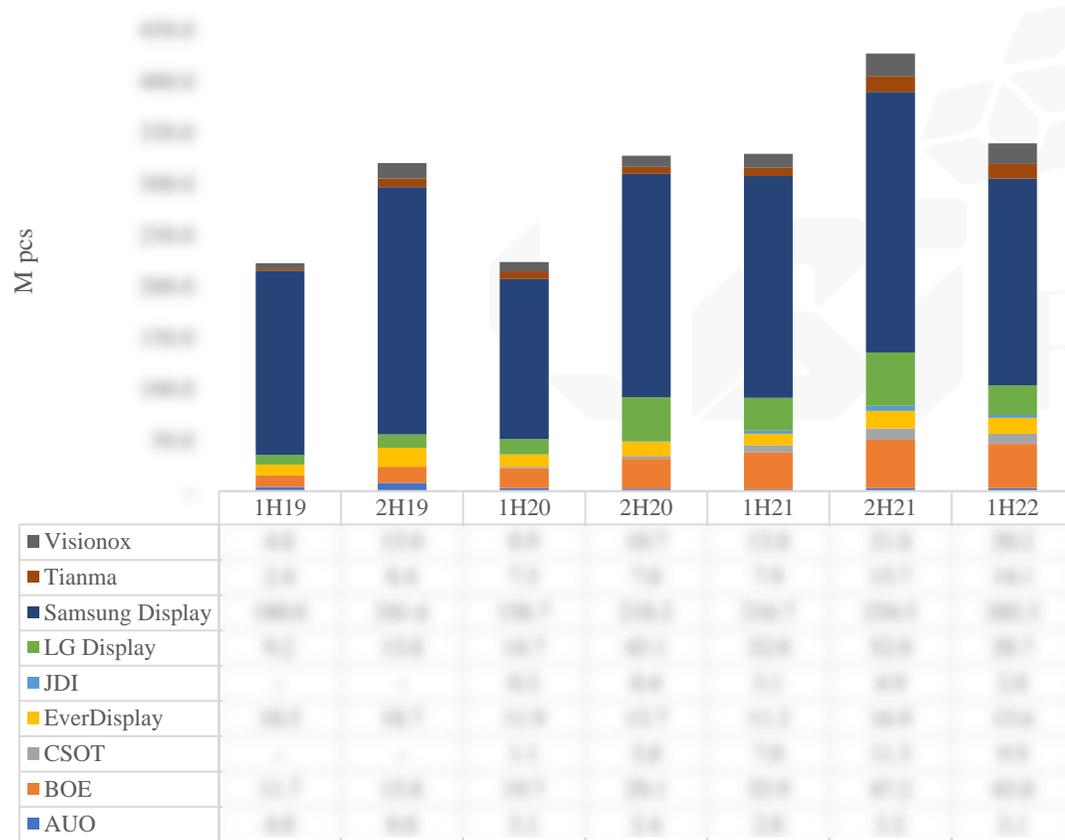
Source: UBI Research DB

5. 半期別OLED市場実績分析

5.2 企業別小型OLED実績分析

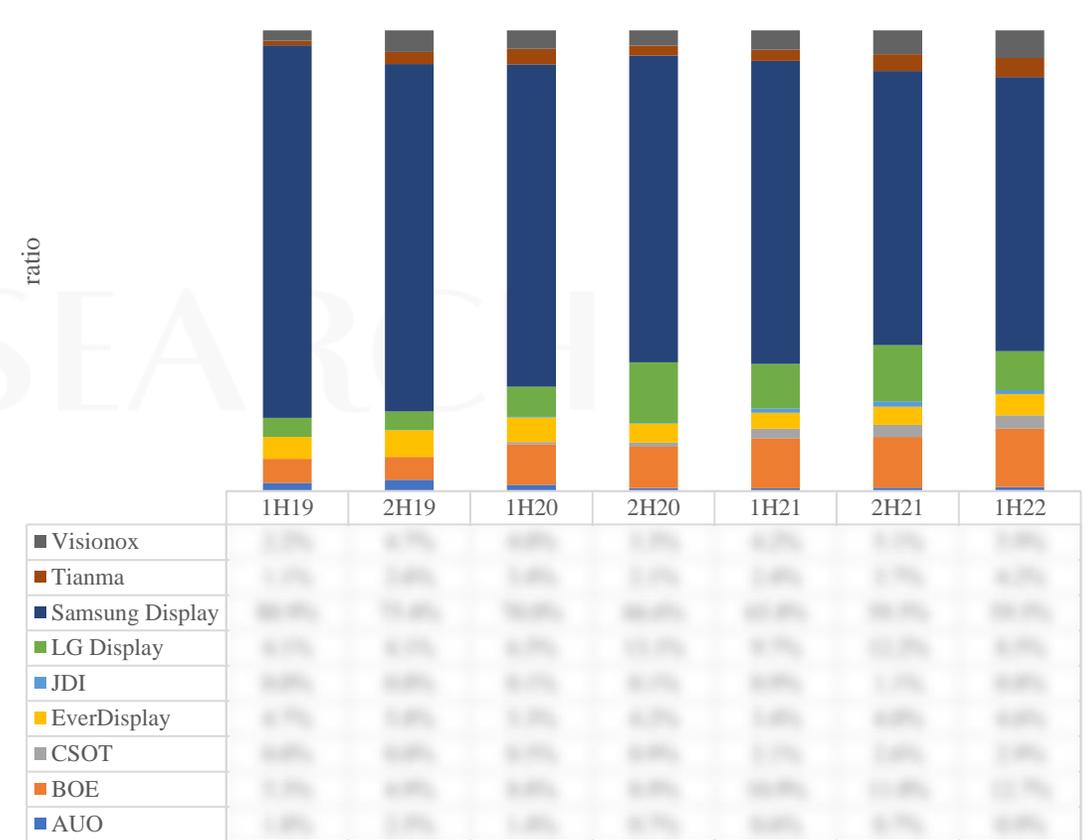
半期別出荷量分析

Semi-annual shipments by company



@2022 UBI Research

Semi-annual shipments ratio by company



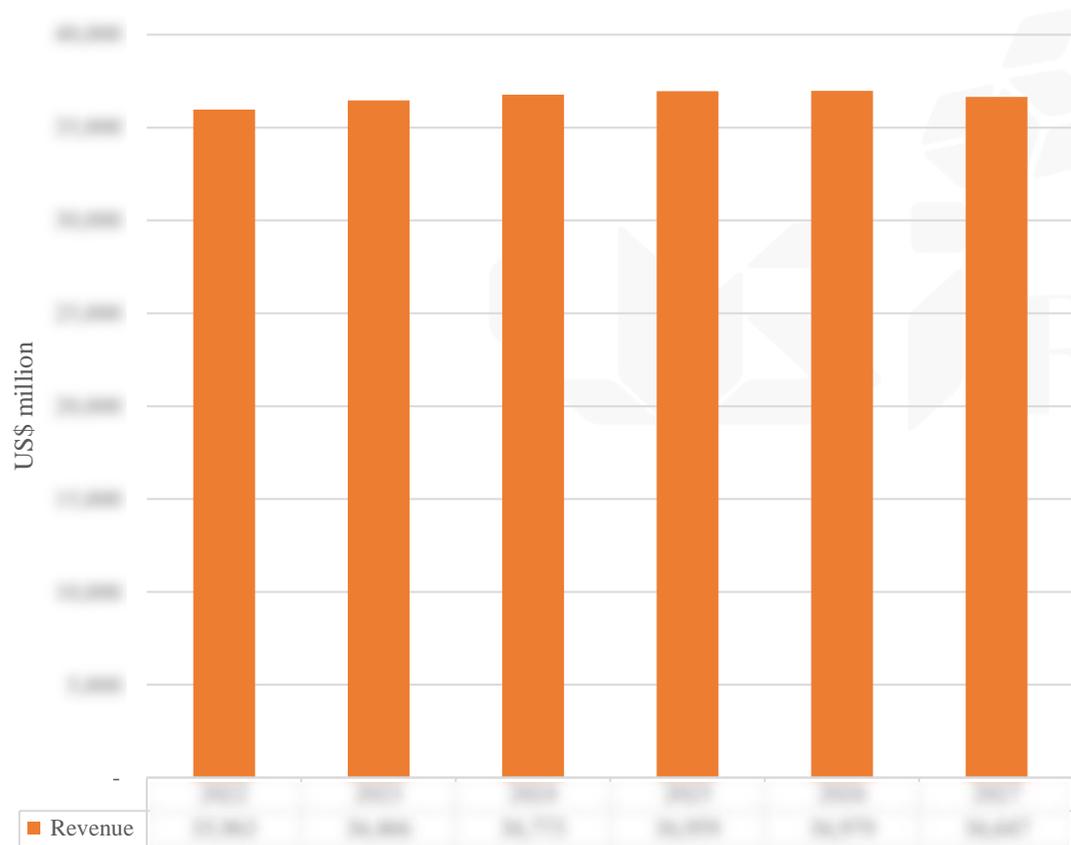
@2022 UBI Research

8. OLED市場の見通し

8.1 市場全体の見通し

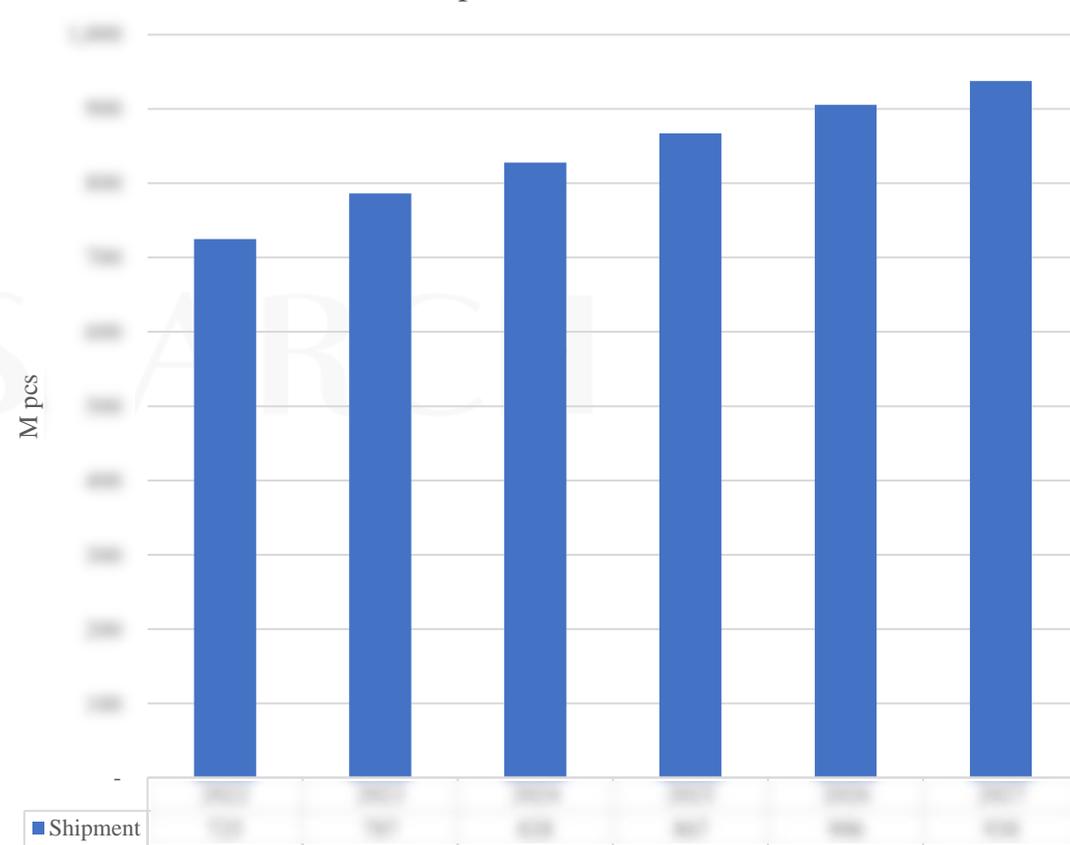
売上高と出荷量の見通し

Revenue forecast



@2022 UBI Research

Shipment forecast



@2022 UBI Research